

陰で支える 表で活躍する 一つになってできること

校長 中村祐佳子

学校では、先週から体調不良の児童が多く、学級閉鎖をしなければならない学級が相次いでいます。まだまだ寒さが残る中、感染対策をしながら過ごしていきたいものです。今週は集会を予定していましたが延期します。またみんなが元気になら楽しい集会ができるといいなと思っています。

さて新年度に向けて児童会選挙を行い、新児童会役員が決まりました。これから、委員会引継ぎ、クラブ見学、お別れ集会、卒業式…と今年度のまとめ、新年度への取り組みが進んでいきます。

今回は、1998年の長野冬季オリンピック、スキージャンプ競技で日本チームが金メダルを取った時のことを見ています。前回のオリンピックで金メダルを逃した日本チームは「今度こそ」という思いで優勝を目指していました。全チームが1本目を終えるころに、降っていた雪や風が強くなり競技はいったん中断しました。その時の日本チームは4位。2回目で全員がいつも通りのジャンプを飛ぶことができれば優勝のチャンスは十分にあります。しかし天候は一向に良くならず、審判団は競技が安全に続けられることを確認するためにテストジャンプを行うことを決定します。テストジャンパーが通常通り飛ぶことができれば、2回目のジャンプを行うことにしたのです。テストジャンパーは25人。自分たちが安全にジャンプできることを証明しなければ日本チームの金メダルはない。誰か一人でも転倒したら、そこで競技の中止が決まるというプレッシャーの中、全員が「選手を絶対飛ばせて見せる」と雪の中をスタートしていきます。そして最後に飛んだのは、自分が選手として長野オリンピックに出るためにけがを乗り越えて努力したにも関わらず代表になれなかった葛西選手でした。葛西選手の大ジャンプと同時に競技の続行が決定しました。テストジャンパーたちの貢献を知っていた日本選手たちは、どれだけ心が強くなつたことでしょう、そして日本チームは金メダルをつかんだのです。金メダルが決まった時、一緒に喜び選手を胴上げしたのもテストジャンパーたちだったそうです。

学校でも、学級でも、表に立つ人も陰で支える人もいます。同じ目的に向かってそれぞれの人が本気で役割を果たすことで、一緒に喜び合える素敵なことが起こるのだと思います。3学期は短いです。みんなでどんなことを成し遂げたいのか、そのために自分ができることは何かを考え、取り組んでいってほしいと願っています。

2月の学校行事予定です。

1(木)交通指導	12(月)振替休日	20(火)食に関する指導(2年3限)
6(火)児童会集会(延期) 新入児童説明会	13(火)スクールカウンセラー来校 集会(宝探し)1限	21(水)クラブ(3年見学)
9(金)6年お別れ遠足	15(木)低高別授業参観 1・2・3年5限 14:35頃下校 4・5・6年6限 15:25頃下校	23(金)天皇誕生日
10(土)少年の集い 市PTA研修会	16(金)ALT来校	27(火)スクールカウンセラー来校 6年生を送る集会(1限)
10(土)11(日)家庭科作品展 (和歌山城ホール)	17(土)子どもセンターミニオリンピック	卒業式式場準備、練習開始 28(水)漢字の博士試験
11(日)建国記念の日		

~昔遊びをしています~

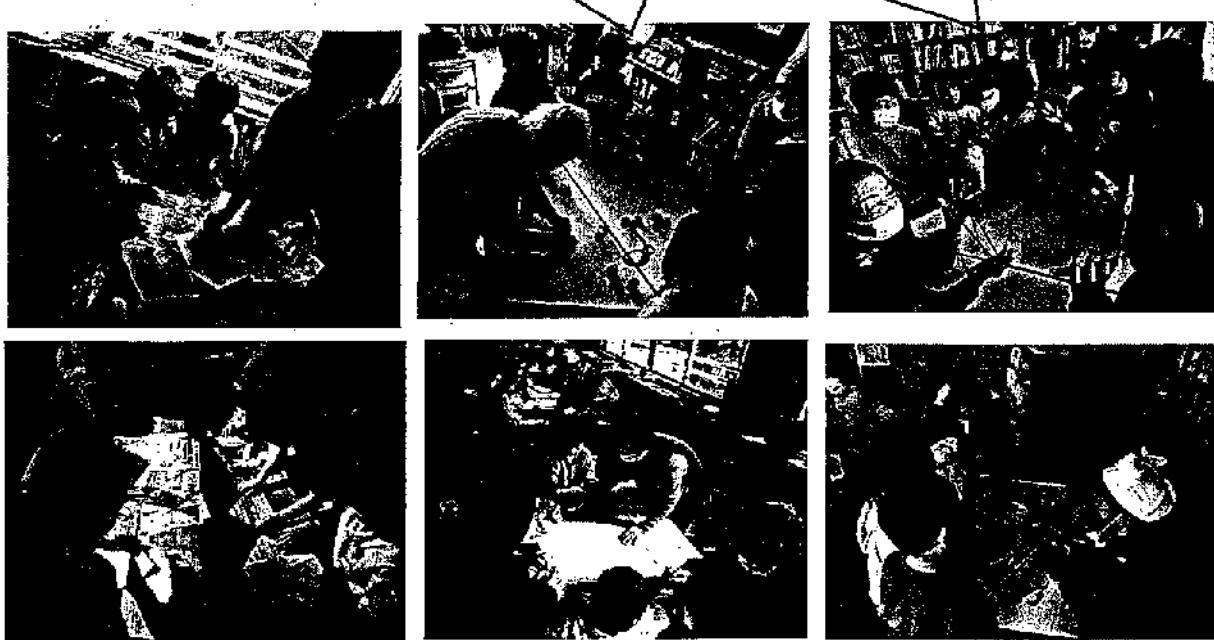
低学年では3学期、日本で昔から親しまれてきた遊び、伝承遊びを楽しんでいます。身体を動かす遊びや手を使う遊びがあります。花いちもんめ、おにごっこ、けん玉、コマ、お手玉、あやとり等。特に、けん玉やコマなどは、すぐにできるものではなく、お友達と一緒に楽しむためにはできないお友達にうまくいくコツを教えてあげなければなりません。一人で楽しむのではなく、みんなで楽しむためにはどうすればよいか考えながら取り組むことに伝承遊びのよさがあります。

最初は全くできなかつた子もお友達にコツを教えてもらってできるようになると、とても嬉しそうな表情を垣間見ることができます。とても微笑ましいなと思っています。

30日には、地域の長寿会の方が来てくださり、紙芝居を見せていただいた後、あやとり、紙鉄砲、おはじき、パズル、折り紙、お手玉を教えてくださいました。2年生は残念ながら学級閉鎖のため教えて頂くことはできませんでしたが、1年生は遊び方を熱心に聞き、コツをお友達と教え合うなどして時間いっぱいまで昔遊びを楽しんでいる様子でした。おうちでも昔遊びを親子でしてみるのもいいですね♪

教えてもらって連続でお手玉ができるようになったよ♪

ほうきの作り方を教えてもらったよ♪



パン!と 音が鳴っておもしろい!!

(1・2年生)